

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和 2 年 9 月 7 日 (月)
14 時 34 分～15 時 40 分
第 4 委 員 会 室

【出席者】 三浦委員長、西川副委員長
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
【事務局】 近重係長、小寺書記

議題

1 はまだ議会だよりVol. 59について…………… 資料1

- (1) 掲載記事及び原稿提出締切について

- (2) ページレイアウトについて

- (3) その他

2 広聴機能の拡充について…………… 資料2

- (1) 宿題整理

- (2) 各地域協議会との意見交換会

- (3) その他

3 その他

- (1) はまだ議会だよりminiへの掲載内容

【次回委員会開催予定】 令和2年10月2日 (金) 午前9時00分～ 第4委員会室

【議事の経過】

[14時 34分 開議]

三浦委員長 | ただいまから議会広報広聴委員会を開会する。佐々木委員は欠席との連絡を受けている。出席委員は9名で定足数に達している。配信済みの議題に沿って進める。

1. はまだ議会だよりVol. 59について

(1) 掲載記事及び原稿提出締切について

(2) ページレイアウトについて

三浦委員長 | 最初に掲載記事及び原稿提出締切等について確認していきながら各ページの担当者を確定したい。書記から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | 割振りを決めていってよろしいか。

(「はい」という声あり)

では冒頭ページから、59号からページがリニューアルするが、表紙についてはこれまで私が担当していたため三浦と入っていたが、このままでもよいか。我こそはという方がおられれば。

(「異議なし」という声あり)

では引き続き私が担当する。

2ページ、9月定例会議の概要、これがポイントというところとトピックスが入る。それぞれご担当くださる方は。

小寺書記 | トピックスは協働のまちづくり条例と議員定数が変わることを仮に入れているが、もう少し別の話があれば変えていただく分には構わないのでお願いします。

三浦委員長 | トピックスの内容について皆からご意見はあるか。この2つでよければ担当を割り振るが。

芦谷委員 | 情報基盤整備についてが割と大きい。

三浦委員長 | 予算的にはそうである。

芦谷委員 | 今まで3つあったから。

三浦委員長 | おっしゃるように予算規模も大きいので当初はそれを挙げていたのだが、定数の変更を載せる必要があるかと思い、スペース的にそちらを選んだ。案として検討していた経緯がある。協議の中であちらがよいというのがあればそれでよいかと思う。

澁谷委員	補正予算の項目はどこに入るのか。
三浦委員長	2ページの、今回これがポイントの部分に配置するしかないかと。
澁谷委員	浜田市独自のコロナ対策第3弾は、ボリュームはどうにしろ載せないといけないのでは。
小寺書記	コロナ対策について割くのであれば、議会ニュースのところにスペースを作ってもよいかと思ったのだが、いかがだろうか。
三浦委員長	これは少しずつずらせるか。例えば澁谷委員からご指摘のあった補正予算は9月定例会議の内容になるので、議会ニュースに7月臨時会議かあるいはSDGsの研修を書いたとして、半分くらいを3ページのところに持ってきて。
澁谷委員	レイアウトが見えない。この項目だけでは。
三浦委員長	ではレイアウトを見ながら話そう。
小寺書記	1ページ目表紙。2ページはポイントとトピックスと、前号のお詫びと訂正が入っている。3ページ目にまたトピックスがもう1つくるのと、賛否討論。陳情のスペースは今後調整して入れる。4ページ目が議会ニュースで臨時会議のことと議員研修会のことを入れている。5ページは決算審査のこと、6ページから11ページまでが個人一般質問、12、13ページで市民対談、14ページが委員会活動レポート、15ページに読者アンケートの結果と今号の読者アンケート、最後に表紙説明と12月定例会議の開催予定と、後書きになっている。
笹田委員	4ページにコロナ関係の対策という形で載せたほうが市民にわかりやすいかと思った。9月につけなくても、コロナ対策で市がこういうことをやっているというだけでもわかりやすいかと思った。
三浦委員長	その他いかがか。
笹田委員	研修会についてを小さくすればよい。
三浦委員長	議員研修会の記事を少し小さくして、4ページ目にコロナ対策第2弾、第3弾として補正予算の審議をこちら側で補いながら、というご提案いただいたのだが、他の皆はいかがか。
川上委員	笹田委員が言われた件は非常によいと思う。大事なものはコロナだと思う。
野藤委員	4ページの議会ニュースは、4ページ自体のものか。コロナ対策を含めたものか。
小寺書記	一応議会ニュースとして4ページ取っている。
野藤委員	真ん中に入っているのでは、上のコロナ対策支援第2弾は別なのかと

思った。これも小さくしてレイアウトを変えたらここに3項目入りそうに思う。

小川委員 写真をもう少し小さくしてもよい。

三浦委員長 では4ページにコロナ対策第2弾、第3弾を少しまとめて記載する、議員研修は少し小さめにして「こういうことをやった」という形で報告する。とにかくコロナを優先して、スペースにニュースとして入れるという感じでいきたい。

(「はい」という声あり)

戻って、今お話があったので、コロナ対策第2弾、第3弾の部分を担当してくださる方はいないか。

澁谷委員 とにかく順次当てていくしかないのではないか。

野藤委員 文字数は。

三浦委員長 この1ページ以内。レイアウトも決まっているので。では野藤委員にお願いしてもよいか。

野藤委員 私に振られそうだと思っていた。

三浦委員長 では4ページの議会ニュースの部分を野藤委員にお願いする。

2ページ目に戻り、9月定例会議今回はこれがポイント、という部分について。

笹田委員 僕は産業建設委員会の委員会活動レポートを担当しようと思っていた。

三浦委員長 では笹田委員に14ページ。福祉と総務、各委員会で担当して下さる方はいないか。

村武委員 今回福祉は少ないので、必要あるのか。

三浦委員長 委員会レポートなので、今委員会で何をやっているかを紹介していただきたい。

村武委員 では私が担当する。

三浦委員長 総務はどうだろうか。芦谷委員にお願いできるか。

芦谷委員 よい。

澁谷委員 特別委員会で執行部に申し入れをした。行財政改革の。それを入れ込むところがどこにもない。

三浦委員長 14ページの委員会活動のところではいかがか。

小寺書記 今は3常任委員会と言っているが、そこを4にして。

澁谷委員 三浦委員長の申し入れの5番だけでもこれくらいのスペースがあるが、項目だけになるというか。今のは冗談である。委員会のところ

三浦委員長

に入れてもらう。

では3常任委員会と自治区制度等行財政改革推進特別委員会という
ことで。行革については申し入れレポートなのでボリュームがある
かもしれないのでそこは配慮いただき、各常任委員会では今このよ
うなことをやっている簡単なレポートでよいと思う。よろしくお
願いする。

9月定例会議のポイントについては、西川副委員長をお願いする。

協働のまちづくり推進条例と議員定数のことについてだが、それ
ぞれいかがか。協働のまちづくり推進条例は自治区制度等行財政改
革推進特別委員会、では三浦が担当する。議員定数等議会改革特別
委員会についてはどなたか。小川委員にお願いできるか。

小川委員

はい。

三浦委員長

4ページは野藤委員をお願いする。決算報告については誰か。

澁谷委員

私がやろうか。

三浦委員長

お願いする。

小寺書記

一応5ページ丸々あるのだが、昨年9月のものを見ながらブロック
で絞って掲載することになると思う。文字量についてはまた相談さ
せてほしい。

三浦委員長

読者アンケート結果については今回最初なので正副委員長でやら
せていただく。またご意見をいただけたらと思う。後書きは川上委
員。

川上委員

はい。

三浦委員長

復唱する。

表紙…三浦委員長

2ページ（9月定例会のポイント）…西川副委員長

トピックス（協働のまちづくり推進条例）…三浦委員長

（議員定数）…小川委員

議会ニュース（SDGsの研修・コロナ対策）…野藤委員

令和元年度決算…澁谷委員

市民対談…西川副委員長

委員会活動レポート…笹田委員、村武委員、芦谷委員、澁谷委員

Vol.58の読者アンケート結果……正副委員長

後書き……川上委員

以上よろしくお願いする。

日程等はまた各自ご確認をお願いする。

(3) その他

三浦委員長

一応確認というかご報告で、議長団に今回の紙面が新しくなることによって個人一般質問の原稿量が減ってしまうことに対して、減らさないでほしいという申し入れがあったと聞いている。ただ、この委員会において議会だよりを、委員会の活動などの情報を掲載していくにあたり、個人一般質問のボリュームが落ちていくということで全体を見ながらそのような結果になったと理解しており、その方向で予定どおり進めさせていただきたい。その説明についてはまた全員協議会等で私から改めてお話をしたい。

澁谷委員

この委員会は常任委員会である。決定した事項は議長の言葉で揺らいではいけない。参考にして検討するのはよいが、常任委員会だから。このメンバーが決めたことが覆るようではいけない。

小川委員

その件について意見があるのだが、僕も指摘を受けたのは、この間の定数のアンケートでも「議員が何をしているかわからない」というのがあって、3カ月に1回個人一般質問でこういうことを言ったということはアピールのスペースとして確保される、1人1人の議員に与えられた権利だと思う。

これまで2段あったものが1段になるということで、ここで決めるのは決めたい僕らもそれに参加したし、言われるまで気がつかなかったのだが、この間そのスペースについても例えば質問の回答者が誰だったのかを書くべき、書かないべきということも含めて長い積み上げがあってここまできたのだが、今回委員外の数名から、いつどこで決まったのか、議会広報広聴委員会だけで決められるのかと。澁谷委員が言われるように常任委員会だからというのもあるが、担当している議員個人から言えば、全く今までと違った形に凝縮する作業が出てくる。そうすると言いたいことが3分の2しか言えなくなった時に、せめてこういうことが決まったがどうだろうかという意見があって。そう言われればそうだが、そのあたり難しいなと僕自身も悩んだ。議論してきて、とりあえずやってみてどうかということ、それに基づいて出すしかない。それでは難しいとなった時にはまた持ち帰って検討ということもあるかもしれないが、今までの流れで言うと常任

委員会で議論してきてやってきたのだが、全員協議会で説明があったかと言われれば、全員協議会ではしてないかもしれないという話があった。

新しいレイアウト資料は議会広報広聴委員会のフォルダには入っていたが、他の議員にはどういうイメージになるのかすらわからなかった。連絡が不十分だったのかとも今回感じた。どう考えたらよいか。今ではもうスペース的にも難しいものがあるので、そういう意見があったことについては尊重すべき部分もあるのではないかな。

澁谷委員

案内不足というのは間違いなくある。今までの書き方に皆慣れていて、それが覆ることに対する不安感はあるから、それは正副委員長の説明不足である。全員協議会の場かもしれないし、あらゆる機会の中で時間を取って説明してもらうか、タブレットに送ってから説明するとか。

野藤委員

具体的な字数を聞いていないというところで、リニューアルに対しては賛成だと。紙面が変わる、広聴機能を充実させることはわかっていたのだが。広報というわけではないが各議員の議員活動部分が半分近くになったということと言われた。私はそういう意見を聞いて、とにかくやってみるべきではないだろうかとは言った。きちんとその部分を説明されたほうがよい。

三浦委員長

今複数の委員からご指摘をいただき、私も全員協議会で、紙面がこうなるという方針のみに留まった説明だったと反省している。それは文字数に関してもこれくらい減ると具体的に説明を申し上げて理解を求めべきだったと思う。ただ一方で、この委員会で文字数を減らしこういう紙面にしていくといったことについては委員全員で協議して諮っていたものである。個人一般質問の重要性を決してないがしろにするわけではないが、個人一般質問も大事だが、議会として伝えていくべき情報が他にもあるのではないかとということで、このようになってきている経緯は、改めて各委員にご理解いただきたい。

繰り返すが説明不足によってこの委員会に所属しない議員に意図が伝わっておらず、今回の記事を作成されるにあたり説明が不足していたことは私の不手際だったと思うので、謝罪するとともに改めて議員に理解を求めようように時間を取りたい。申しわけなかった。

笹田委員

一般質問の文字数について全員にメールが来なかった。上野議員

三浦委員長 は来なかったと言っていた。
原稿の作成については全員に配信していて、上野議員に届いてなかったのは事務的な何かがあったのかもしれない。

小寺書記 また確認しておく。

三浦委員長 本件についてはそのようなことで、また時間を設けて説明をしていきたい。

2. 広聴機能の拡充について

(1) 宿題整理

三浦委員長 (以下、資料をもとに説明)
改めてご覧いただき、皆の意見をうかがいたい。

川上委員 市民一日議会については前回もやる方向を出しているの、その方向で進めていただいてよいと思う。

三浦委員長 その他いかがか。
(「なし」という声あり)
ではお願い事項の文書を作成した。3常任委員会と特別委員会の各委員長宛てに作成している。委員会広聴機能強化に向けての問題ということにしている。

澁谷委員 (以下、文書読み上げ)
この内容についても少しご意見をいただきたい。
申し分ない。

野藤委員 これを各委員会でやって、集計というか広聴機能で出た課題、問題、意見はどうするか。

三浦委員長 議会全体で広聴機能を高めようという呼びかけ的なもの。

野藤委員 それをフィードバックするのではなく、委員会がすればよいということか。

三浦委員長 はい、各常任委員会で広聴機能を強めていくことを意識して、ぜひ活動をしていこうというもの。

野藤委員 はい、すみません。

小川委員 主体性を持って常任委員会でやってくれ、広聴機能も意識の中に入れてくれという内容なので、それで十分だと思う。

芦谷委員 これだけ委員会があって、するところ、しないところとある。委員会ごとに目標というか、進行管理をしたほうがよい。全くやらないところが出てはいけない。最低限どの委員会もするほうがより幅

- 広い意見が聞ける。ぜひ進行管理をしたほうがよい。
- 三浦委員長 誰がどう進行管理するのか。
- 芦谷委員 やる、やらないを。
- 澁谷委員 例えば自治区等行財政改革推進特別委員会は誰と話すのか。浜田市の行財政改革がわかっている人がいるのか、ぱっと浮かんでこない。浜田市の特別委員会の中で商工会議所の会頭やいろいろな人が入っている。しかしそれは表面的な事しか言わない。彼らは行政のことがわかっていないのだから。常任委員会では年5回やってくれ、特別委員会は3回と言われても少し困る。
- 野藤委員 そこはある程度各委員会に任せるしかない。お願いなので、各委員会がいろいろな活動の見える化のためにこういうことを取り組んでくださいという意味なので、それでよいのでは。
- 笹田委員 今ちょうど議会運営委員会も各常任委員会に重要案件の意見交換会の関係で議論してもらうことになっている。あれと絡めて基本条例の中でもうたうくらい。常任委員会だと全議員参加しているので広報も広聴も含めて、そちらも機能させながらやらないと、ここだけでは厳しいと思う。重要案件の意見交換会は今度3月で新たに見直しする。年1回でもやっていただく形を議会全体としてやればよい。ここだけでやるのは厳しいと個人的に思う。
- 三浦委員長 申し入れ先を3つの常任委員会にするというのも皆の意見を踏まえると少し扱うテーマもあるので、3つの常任委員会にとどめるというのも案の1つとしてあるかと思う。
- 野藤委員 私は3常任委員会でもよいと思う。特別委員会はいらない。
- 澁谷委員 中山間地域振興特別委員会があってもそれは総務でもわかっている。行革も本当はそう。特別委員会は特化しているから3常任委員会だけでできないことはない。
- 三浦委員長 そうすると3つの常任委員会宛てでこの内容でお願いしていくということではいかがか。
- 川上委員 よい。
- 三浦委員長 では特別委員会はここから除かせていただき、3常任委員会にお願いしていくということで進めたい。ご意見感謝する。
- 皆から出していただいた意見の一覧に戻るが、この申し入れを先ほどの修正点等も入れてお願いしていくことと、市民一日議会の実現に向けて再度、一度出ている計画書をもとに再度皆に諮らせてい

ただき前に進めていくということによろしいか。

(「はい」という声あり)

ではこちらも進める。

(2) 各地域協議会との意見交換会

三浦委員長

これは前回、皆からいただいたアイデアについて難易度や有効性について正副委員長で話をするとき、今後自治区制度がなくなる中で地域協議会の活動はそのまま継続されるが、議会として地域協議会の方々と例えば年に何回か意見交換会をしていく機会を設けるのはどうだろうか。今まで正式に議会として地域協議会に訪ねていくことはなかったと思う。この提案に対してどのように感じるか皆に率直なご意見をうかがいたい。

川上委員

意見交換だけならよいが議会が出ていくと難しい部分がある。執行部と議会と地域協議会の3つがある。なかなか難しい。僕が地域協議会委員で、議員が来たらどうするのか聞いた。そういう言い方をしていた。単なる意見交換で、申し入れがあってもそれは聞き置くくらいのことで、答えをするのではない。それを徹底すればできなくはない。

澁谷委員

1回やってみればよいと思う。それで難しいならやめたらよい。それでだめだったら反省すればよい。

川上委員

難しいのは多分金城と三隅。そことやってみればよい。

芦谷委員

地域協議会の濃淡というか、いろいろあるので難しいなど。地域協議会は専ら執行部の仕事である。我々が入ることに懸念があるし、もしくは一日議会としてやったほうが。まあ1回やってみるという案でもよいと思う。

村武委員

地域協議会の方との意見交換は個人的にも興味があるのでやってみたい。

小川委員

議会広報広聴委員会がやる格好になるのか。

三浦委員長

議会として。自治区長が廃止され、自分たちの代弁者である自治区長がいなくなる懸念は地域協議会からも上がっていたこともあって、支所長はまさに執行部の中のあるその管理者になってしまうので、そうでない立場を求められるなら。自治区長と議員は違うのだが市民の意見を集約していくということで、そこに議員が出て行って話を聞くのもどうなのかって思って提案した。

- 小川委員 アンケートの中にもいくらかそういう質問があった。支所が機能して地域協議会がしっかりしていれば議員は要らないという意見もあった。しかし人数や割り当てがそれぞれある。意見交換とはどういった形で、イメージが湧いていないのだが、こういうテーマで意見交換をしてみようということなのか、議会報告会や地域井戸端会みたいな格好でテーマを設定せずに聞くだけでもよいのか。流れが読めないので賛成も反対もわからない。方向が見出せるなら一度やってみるのもよいかもしれない。
- 野藤委員 地域課題があって意見交換をするならよいが、陳情とか限定的な感じになりはしないか。第2議会という感じになってもいかなんとも思う。やってみてもよいとは思いますが、ガイドラインを作っていないとうやむやになりそうな気がする。
- 西川副委員長 皆の意見はそれぞれわかる。やるとしてもどうやるか、どういう構成か、タイミングなどを練らないといけない。これから自治区制度に代わる制度になった時に、地域協議会の位置づけがかなり重要になるので、地域の代表と意見交換するのは非常に意義がある。
- 三浦委員長 懸念点もあって、確かに一理ある部分もある。市民一日議会と併せてこれも具体的な提案書を整理してみて、また皆と議論してみたい。

(3) その他

- 三浦委員長 事務局から特に何かあるか。
(「なし」という声あり)

3. その他

(1) はまだ議会だよりminiへの掲載内容

- 三浦委員長 小寺書記からお願いする。
- 小寺書記 (以下、資料をもとに説明)
- 三浦委員長 ちょうど浜田の推奨作物である梨の出荷時期に重なるのでこれを入れたのだが、今年は状況がよくないらしく、例年の2割程度と聞く。受粉の時からよくなかったとか。そういうよくない状況を書くのはどうかという意見を聞いた。
- 小川委員 今年はずがおらずブルーベリーもためだっらしい。
- 川上委員 ブドウがよいと思う。柿はまだ早いし。

澁谷委員	暗い話より明るい話がよい。
西川副委員長	笹田委員、サザエやアワビはどうか。
笹田委員	まあ。
野藤委員	今年はノドグロがよいと聞く。
笹田委員	ノドグロはよい。
三浦委員長	文字数それほど多くないので、今年はノドグロがよく獲れている とって写真と何かあると嬉しい。
野藤委員	それはどこに書くの。
西川副委員長	議員の呟き。 ではノドグロを記事にして。議長日誌は事務局に願います。新 しいm i n i 発行と議会だよりがリニューアルするというのは、最 初の号なので私が書こうと思うが、もう1個、広域行政組合について 触れようかという話をしていたのだがどうか。
澁谷委員	何を載せるのか。
三浦委員長	広域行政組合にも、こういう議会があつてというのを。結構ご存 じでない方も多いのではないかと思って。こういうことはまだ議 会だよりで紹介する機会もないので取り上げたらどうかという発想 である。
小川委員	今回は有福共同管理組合とか。そういう発想か。
三浦委員長	今回は広域行政組合を取り上げてみようかと。これに限らずもし よいアイデアがあれば、はまだ議会だよりに載せるタイミングがず れていることとか、あるいは取り上げるチャンスがなかなかないこ ととか、そういうのがよいかと思う。
澁谷委員	これは編集長の才覚だから。誰かに頼んで企画というか。
野藤委員	締切はいつか。
小寺書記	9月20日くらいまでには原稿を出していただき、25、26くらいで最 終確認した上で10月1日発行みたいなイメージである。
小川委員	出雲の定例会と定例会の間に出すものは、定例会の賛否等も2カ月 半くらい後になるから、早く伝えなければいけないものを盛り込む らしい。ゆっくりまとめてから載せなければいけないものと、急ぐ ものがある。
三浦委員長	例えばコロナもあれだけ臨時会議が開かれたなら、臨時会議でこ うなった、詳しくは次号でとしてやってもそれはよいと思う。今回 は11月号の紙面にコロナのことも割かれているので。

- 澁谷委員 正副委員長のキャラクター、どこにもない切り口や企画など、色を出せばよい。
- 野藤委員 最終的には正副議長の発行責任になるから事前に報告を。
- 三浦委員長 最終的にはここで諮ればよいけど、どのようなものがよいかここで提案したらということなので。では1発目はそれでやってみる。また記事ができれば皆に配信する。
- 小寺書記 その他何か皆からあるか。
 次回の委員会の日程だが、10月2日（金）午前9時からということ
 でよろしいか。
- 三浦委員長 （ 「はい」という声あり ）
 場所は第4委員会室、柏村印刷に同席いただく。
 ではそのようにお願いします。本日は以上とし、議会広報広聴委員会を終了する。

[15時 40分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀